



- 2014-2015 R I 会長：ゲイリー・C. K. ホアン
- R I 第 2570 地区ガバナー：坂本 元彦
- 会長：加藤 国夫 幹事：滝沢 文夫
- 例会日：木曜日 12：30～13：30
- 例会場：丸広百貨店入間店 6 F パンケットホール
Tel. 04-2963-1111

- 会報委員長：石川 嘉彦 ■ 当番：森田 英郎
- 事務所：〒358-0023
入間市扇台 3-3-7 ハイソ斎竹 101 号
Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788
Email: iruma-rc@jupiter.plala.or.jp

第 36 号 2857 回例会 2015 年 3 月 19 日 (木)

<ビジター・ゲスト>

豊岡第一病院 医師

中川 敏行 様

●●● 会長の時間

加藤国夫会長

皆さん今日は、2011 年 3 月 11 日に発生した、東日本大震災から 4 年。新聞、テレビなどの報道によりますと、大震災、大津波からの復旧・復興の状況を大きく取り上げられています。鉄道を含む交通、道路環境整備は概ね 90%以上が整っているようです。災害地域での瓦礫処理についても（汚染廃棄物対策地域）を除けば、全体の 95%まで処理が進展し、津波による堆積物も全体の 94%の処理が完了したようです。しかし避難者・被災者の住環境整備や生活再建への道のりはまだまだ長く、避難生活者も今尚、2014 年 3 月の統計では 26 万人だそうです。現在ではこの数字よりかなり減少していると思います。今後の支援の在り方についても変わりつつあるようです。この災害について、風化させない事が大切だと思いますので、入間ロータリークラブでもこれからも度々取り上げていきたいと考えています。

話変わりますが、先週 3 月 14 日 (日) 国際ロータリー第 2570 地区、第 3 グループ IM (インターシティーミーティング) には入間クラブからも、多数のご参加を頂きまして誠にありがとうございました。基調講演に元西武ライオンズの石毛宏典氏の講演がありました。野球を通して「次代を育てる」タイトルで説得力のある講演に耳を研ぎ澄ませて参りました。

識字率の向上「子供が教室で学べるように」がロータリーの友に掲載されておりました。そこでザ・ロータリアン誌 (2013 年 12 月号) の抜粋から、女性の活躍の記事を紹介いたします。

テロの危険を顧みず、ロータリアンのラジャ・ジャンさんは祖国アフガニスタンに少女たちの学校を立てました。ラジャ・ジャンさんが

“祖国アフガニスタンに少女たちのための学校を” そう思い立ったのは 2005 年のことでした。当時は、武装勢力のタリバンが女兒教育への過剰な圧力をかけており、ジャンさんの考えは大きな危険を伴うことでした。学校が設立された 2008 年、国内では爆弾、銃、毒ガスや酸性物質、手榴弾で武装したテロリズムによって、教師や学校職員、生徒など 149 人の命が失われました。しかし、ジャンさんは怯みませんでした。アフガニスタンの教育省と掛け合った末に政府高官を説得し、首都カブールから 30km 離れた村の土地を寄贈してもらいました。「ザブリ教育センター」と名付けられた教育施設は今年で 6 年目を迎え、幼稚園から中学校までの女子 400 人に教育の場を提供しています。この教育センターがなかったら、多くの少女に教育への道が開かれることはなかったでしょう。「知識は一度身につければ、誰も奪うことはできない」そう話すジャンさんは、少女たちの、そして地域社会で起きている変化を、はっきりと感じています。「ザ・ロータリアン」誌は、米国マサチューセッツ州ダクスバリーで洋服仕立業を成功させたラジャ・ジャンさんとインタビューを行い、学校設立に関するエピソードを教えてくださいました。

● 幹事報告

滝沢文夫幹事

1. IM に際して 急に欠席になってしまった会員の方より幹事宛に連絡を頂き、ありがとうございました。会場に忘れ物があったそうです。詳しくは事務局にお問い合わせください。
2. 工藤君より礼状が来ており、代読しました。
3. ガバナー月信のコーディネーターニュース (12 頁) が気になりました。皆さんもご一読ください。
4. 本日 3/19 新井国際奉仕委員長が FM チャッピーに出演されます。

●委員長報告

親睦活動委員会

大野賢次委員長

日帰り旅行が正式に決まりましたのでご報告いたします。5/28にロータリー美術館と一緒に、高崎市タワー美術館・磯部温泉で昼食後富岡製糸に参ります。是非、皆様お誘いあわせになつてご出席、宜しくお願ひ致します。

広報委員会

岩崎茂委員長

今日は国際奉仕委員会の内容について、FMチャッピーで新井格委員長がお話しされます。応援に行つていただければと思います。次に入間RC創立55周年記念式典が5月14日に正式に決まり、皆さんのお手元に印刷物でお配りいたしましたので、ご覧になつて多くのご参加を頂き、大盛會に実施いたしたく加藤會長はじめ、大野會員ほか実行部隊で準備いたしております。宜しくお願ひ致します。最後に、忽滑谷會員が會長をされています、入間市倫理法人會の講演が4/8にございますので、お出かけ下さい。

ロータリー財団委員会

後藤賢治委員長

今日はロータリー財団のお話ではなく、2年前から行つていました地域發展(入間市ゴミ減量化推進協議會)の活動報告を毎年行つています。入間クラブの活動としては、入間川の河川敷での清掃協力とアルミ製リヤカーの贈呈などが書かれております。後ほど回覧させて頂きまますのでご覧になつて下さい。

ロータリー財団次期委員長

新井格會員

次期ロータリー財団の委員長を務める事になりましたので、3月7日にロータリー財団部門セミナーに粕谷エレクトとご一緒に、3時間半みっちり勉強して参りました。財団では活動資金の浄財を皆さんにお願ひ致しておりますが、昨年はこの地区の財団の資金で入間クラブは、發達障害のお子さんたちの教材を提供しました。99.9%にまでなつていますポリオ撲滅活動や、地区活動資金として、お一人200\$の浄財を、7月以降お願ひに参りますので宜しくご協力下さい。

<ニコニコBOX>

忽滑谷明SAA

山根宏夫君～本日は健康卓話でうちの健診部長の中川がお世話になります。よろしくお願ひします。加藤国夫君、撰田順一君、吉永章子君、後藤賢治君～中川先生、本日は卓話宜しくお願ひ致します。

本日¥7,000 累計¥727,500

<出席報告>

田中快枝委員長

會員數	出席數	出席率	前々回修正率
39名	30名	76.9%	73.7%

事前欠席連絡 2名

■■■■講師卓話■■■■ 「健診と人間ドック」

中川 敏行 様



治療医学に相對する予防医学が健診の医学的役割となります。現在、対策型健診としては集團全体の為に行う法律に基づく「一般定期健診」や「特定健康診査・保健指導」等があります。一方、個人の罹患リスクを下げる

ために行うのが任意型健診の「人間ドック」で、健診項目は多種類から選べます。

我が國の最近の死亡原因を見てみますと、第1位が悪性疾患(がん)、第2位が心疾患で第3位が肺炎(平成23年から第4位の脳血管疾患と逆転)です。肺炎を除くと第2位、第4位は生活習慣病の範疇に入ります。従つて、がん検診だけでなく、生活習慣病健診(特定健康診査・保健指導)も最近は重要な健診になっています。

人間ドックを含む健診の効用にはがん検診の早期発見早期治療に代表されるように、進行がん等になる前に発見する重症化の予防効果(二次予防)と生活習慣病等の發病予防効果(一次予防)があり、今日的健診業務の意義があります。人間ドックの事にも触れながら、主に大切な「がん検診」と「特定健康診査・保健指導」の事について述べました。

最初に山根會員より健診医の専門医であられる、中川先生のご紹介がありました。最後に山根先生からも、高齢者の死亡原因は肺がん、肺炎が多く、咳などが長く続くようでしたら診察時にはレントゲンだけでは無く、CTを撮ることも大事ですと助言されました。



◆回覧、配布物

- ①ガバナー月信 No.9
- ②入間RC 55周年記念式典開催日のお知らせ
- ③4/9 座禅例会出欠表
- ④4/21 入間南RC 合同例会出欠表
- ⑤5/28 日帰り美術館めぐり出欠表
- ⑥ハイライトよねやま 180
- ⑦ロータリアンの行動規範
- ⑧入間市教育委員会研修會参加の御礼
- ⑨加藤會長「論語」解説書
- ⑩他クラブ週報&例會変更のお知らせ
- ⑪入間RC 週報 34, 35号